

秋の賑わい まちなか高校生フェスタ

市内の県立高校4校、伊勢崎高校、伊勢崎清明高校、伊勢崎工業高校、伊勢崎商業高校と県立伊勢崎高等特別支援学校、県立玉村高校および市立四ツ葉学園中等教育学校の生徒が日頃の活動成果を披露します。

期日 10月21日(土)

※雨天の場合は中止

時間 午前9時～正午

会場 伊勢崎駅前広場・伊勢崎駅前インフォメーションセンター

内容

- 吹奏楽部や軽音楽部、合唱部の発表
- 書道パフォーマンス
- 絵や書などの作品展示



▶昨年のまちなか高校生フェスタの書道パフォーマンスの様子

※作品展示は10月29日(日)まで伊勢崎駅前インフォメーションセンターで展示します
※月曜日は休館です
入場料 無料
問い合わせ 都市開発課(☎217490)または伊勢崎駅前インフォメーションセンター(☎618008)



▲昨年のまちなか高校生フェスタの作品展示の様子



伊勢崎枝豆「はた織りこまち千秋」を販売します

伊勢崎枝豆「はた織りこまち千秋」は、夏に収穫される「はた織りこまち」とは一味違い、ホクホクとした食感が楽しめます。

期間 10月14日(土)から29日(日)まで

※売り切れ次第終了です

販売店 J A 佐波伊勢崎の農産物直売所からか(げ(田中町)



▲秋のはた織りこまちを味わってみませんか

価格 1袋480円(税込)
問い合わせ 農政課(☎272757)

埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院編」

古代寺院である上植木廃寺と国指定史跡十三宝塚遺跡のパネルを展示します。ぜひお越しください。

伊勢崎市図書館会場

期間 10月14日(土)から11月12日(日)まで

※10月18日(水)・25日(水)・26日(木)・11月1日(水)・8日(水)は休館です

時間 午前9時～午後7時

※土・日曜日は午後5時までです

市民サービスセンター宮子会場

期間 11月20日(月)から12月17日(日)まで

時間 午前10時～午後7時

赤堀歴史民俗資料館会場

期間 令和6年1月6日(土)から28日(日)まで

※令和6年1月9日(火)・15日(月)・22日(月)は休館です

時間 午前9時～午後5時
問い合わせ 文化財保護課(☎6672)

親子で作ろう「まちなかイルミネーション」

親子で作った作品を、12月1日(金)から開催する冬の賑わい「まちなかイルミネーション」で展示します。皆さんの作品で、冬の伊勢崎駅前を華やかに彩りましょう。

期日 11月5日(日)

時間 午前10時～11時30分

会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター

対象 市内の小学生以下の子どもとその保護者

定員 10組(先着順)

内容 1メートル四方の枠に、ロープライトを使い、一筆書き

きでキャラクターや動物などオリジナルの作品を制作します

※作品は返却しません

参加料 無料

申し込み 10月11日(水)午前9時から22日(日)午後5時までに電話で伊勢崎駅前インフォメーションセンター(☎618008)へ

※月曜日は休館です

問い合わせ 都市開発課(☎217490)または伊勢崎駅前インフォメーションセンター



▶冬の伊勢崎駅前をもっとにぎやかに!

人権啓発フェスティバル in いせやき

人権問題に関する講演会や中学生人権作文の発表などを行います。

期日 11月11日(土)

時間 午後1時30分～3時50分

会場 人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター

内容 東ちづるさんによる講演会、中学生人権作文優秀作品の表彰・朗読、市内の小学生が描いた人権啓発ポスター優秀作品の展示

ター優秀作品の展示

【講演会】

対象 市内に在住または在勤・在学の人

定員 650人(先着順)

演題 誰も排除しない「まぜこぜの社会をめざして」

講師 東ちづるさん(俳優)

入場料 無料

※入場には整理券が必要です。整理券は10月11日(水)から人権課、隣保館、各支所庶務課、市民サービスセンター宮子・

あずま、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで配布します。整理券は1人5枚までです
問い合わせ 人権課(☎272730)



▲東ちづるさん

まちなかイノベーターNEWS!! 01

地域おこし協力隊

連載企画スタート! 地域おこし協力隊「まちなかイノベーター」の活動を紹介します

こんにちは! まちなかイノベーターの関口咲季子です。伊勢崎駅周辺の「まちなか」を元気にするため、本年4月からまちなかイノベーターとしての活動を開始しました。このコーナーでは、現在活動している2人のまちなかイノベーターの活動報告を通して、私たちの活動を知ってほしいと思います。



問い合わせ 商工労働課(☎27-2754)

地域おこし協力隊「まちなかイノベーター」とは?

「地域おこし協力隊」という制度は、伊勢崎市では初めて採用する制度のため、この言葉を初めて聞く人もいないのではないでしょうか? 地域おこし協力隊とは、地域の外から人材を受け入れ、地域協力活動を通して定住や定着を図り、地域の力を強く維持していこうという制度です。農業の手伝いをしたり、自らイベントを企画したり、情報発信を通して移住支援を行ったりと、全国各地で多くの隊員が活躍しています。

自己紹介

藤岡市で生まれ育ち、大学卒業後は山梨県富士河口湖町、長野県山ノ内町にある奥志賀高原と、さまざまな地域で生活してきました。ことしの3月までは、秋田県藤里町という白神山地の麓にある人口3,000人に満たない小さな町で、地域おこし協力隊として活動していましたが、次第に群馬に帰って活動したいという気持ちが強くなり、4月から伊勢崎市での生

活を開始しました。「地域を変える…」そんな大層で難しいことではなく、「自分と、身の回りの大事な人たち」と楽しく幸せに生活したい。そしてその輪を少しずつ広げていくことが、協力隊の活動をしていく中での私のモットーです。

まちなかでカメラを下げ歩き私を見かけたら、ぜひ声をかけてください!

趣味は温泉・サウナとお酒を飲むことです!



まちなかイノベーター 関口 咲季子さん